

# FANCT vol. 136-Jul.



学生の笑顔が一番！（令和3年4月21日）

# 今年度の旭川高専 (2021年6月3日(木))

校長 高橋 薫

今年度も新型コロナウイルスの影響を受けたままの学校のスタートとなってしまいました。その中で、感染対策のため、規模を縮小して入学式を実施しました。保護者の方々には楽しみにされていた入学式にご出席いただかず、学校としても心苦しい思いでした。

始業式も、学年の始めですので一堂に集まり、新任の教員紹介も含め、挨拶や心構えなどを学生全員の前でお話しできればと願っていましたが、それも縮小型で学年ごとに行うことになってしまいました。その後も緊急事態宣言の発令もあり、感染をできるだけ防ぐ目的で、対面授業からオンライン中心の授業へ移行するなどご不便をおかけしました。一日も早く新型コロナウイルスが収束に向かうことを願うばかりです。

このような中で、今年度から新しいカリキュラムがスタートしました。最近の日本でよく聞かれるキーワードは、AI (人工知能), DX, Society5.0, SDGsなどですが、本校はこのうち、AI, DXとSociety5.0, つまり、この先日本の産業界をけん引する最重要な知識と技術を修得する教育を始めていきます。

具体的には、低学年のうちから、セキュリティを含む情報教育、世の中のデータをどのように分析・活用するかのデータサイエンスと呼ばれる教育、さらに、AIの基礎と活用の教育を行っていきます。これらの教育をどの学科でも低学年のうちから共通に学生に提供するのが特徴です。高学年に進んでいくと、地元社会・地元産業と連携し、地域の課題の発見・解決に取り組むPBL授業を展開します。低学年で学んだことを、ここでまさに社会課題に適用するものです。これも学科に関係なく、共通で行います。結果、日本として重要な基礎部分の教育を全学科が混在して共に学び、さらにそれに専門学科それぞれの知識と技術を加味・具備した教育システムを本校は新しく展開します。

これらの新しい教育を受けた学生が、今後の日本だけでなく、地域社会を支える有望な人材になっていくことを願っています。



# 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた本校の取り組みについて

副校長・教務主事 篁 耕司

学生の皆さん、保護者の皆様、並びに本校の運営に関わる全ての皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止のための本校の取り組みにご理解を賜り誠にありがとうございます。お陰様でこれまで本校にて感染が広がった事例は認められておりません。

本校では、4月当初より集会を分散して行うべく入学式を学生のみとし、新入生保護者オリエンテーションも寮生・通学生の2回に分けて開催、2年生以上の学生を対象とする始業式は、初めて学年毎の分散開催としました。対面授業では、会話時のマスク着用を徹底するとともに換気を定期的に行い、実験実習等も、できるだけ密にならないよう配慮しながら行っています。

先般の緊急事態宣言を受け、高等教育機関である本校は、接触機会を低減するため、5月19日（水）からオンライン授業に移行しました。宣言時の解除予定であった5月31日は延長となりましたが、6月20日が宣言最終日となり、6月21日（月）から対面授業に戻りました。この間約5週間にわたり、学生たちは各自でオンライン授業を受けていたこととなります。これは本校の学生が「自学自習できる高専生」の証であって、素晴らしい特徴の一つだと思っています。

7月からは、オンライン授業で行えなかった実験や体育等の授業が目白押しです。一方で、新型コロナウイルス感染症対策はまだまだ気が抜けない状況です。状況の変化に対応しつつ、学生の学修の機会を確保するため、今後も行事や授業の変更が予想されます。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。



## 新入生研修 (2021年4月22日(木))

学生主事補 平 智幸

入学から2週間ほど経過した4月22日(木)、本校にて「新入生研修」が行われました。

この研修は、新入生に有意義な高専生生活を過ごしてもらうために行われているもので、午前中は在校生による学生生活・学科の紹介やクラブ紹介、生産システム工学専攻2年の木村さん、及び本校OGの技術創造部の長谷部さんからの講演がありました。先輩からの話を聞くことによって、高専でどう生活しどう学ぶのか、あるいは卒業後にどういう進路があるのか等を理解してもらえたのではないかと思います。午後からはミニバレーボールを行い、学科内でのリーグ戦、各学科代表によるトーナメント戦を行い、新入生同士の交流を深めました。

次ページ以降に、各クラス代表者から寄せてもらった感想等を掲載します。



# 新入生研修の感想を教えてください！（1年 機械システム工学科）

代表 大江 玲さん

## ① 新入生研修を終えて

新入生研修の時は、友人も少なく右も左もわからない状態でした。しかし、この研修でミニバレーを行ったりしたことによって、クラスにも少しずつ慣れていったと思いました。

## ② 印象に残ったこと

前半に行われた先生や先輩のお話は、この旭川高専という学校について、色々なことをよく知ることができる良い機会だったと思います。

後半のミニバレーでは、クラスの仲間と協力して頑張ることができたことが印象深く残っています。結果的には負けてしまったけど、楽しかったです。



## ③ 今後の学生生活に対する抱負

僕は正直勉強は苦手だし、あまり好きではありません。ですが、この旭川高専という学校で、そんな自分を変えたいと思っています。この5年間の努力の積み重ねが将来の人生に大きくかわってくると 생각합니다。

他の高校と違い、5年間という長い間で学生として知識をつけていくことができることは、辛いことでもありますが、自分の将来のために、今、頑張っていきたいと思っています。

## ④ クラスの雰囲気について

クラスの雰囲気は、最初の頃はほとんどの人が初めて会う人ばかりで、やはり元気がないようでした。ですが、しばらく過ごすうちに少しずつ会話も多くなりました。今では、全体的にも様々な人と仲良く過ごしていると思いました。

イジメのようなことやクラスが陰悪なムードになっていることもなく、明るく元気な良いクラスだと思いました。これから5年間はともに過ごす仲間なので、楽しく生活していけたらいいなと思います。

# 新入生研修の感想を教えてください！（1年 電気情報工学科）

代表 宮腰 眞路 さん

## ① 新入生研修を終えて

新型コロナウイルスの影響で、昨年から予定通りに物事が進まないことが多くありました。新入生研修もその一例です。例年は一泊二日ですが、今年は規模を縮小し、一日間の研修となりました。僕たちはその限られた時間の中でバレーボールをしました。笑う人、悔しがる人、おちゃらける人、いろいろな人がいました。それはそれぞれの楽しみ方が出来たのだと思います。ただ、それを実現できたのは先生方のお陰だ、ということを感じていると思います。



## ② 印象に残ったこと

「小西教」という宗教？があると聞いたときは驚きました。しかも、ちゃんとした教徒がいるというからもっと驚きですよ。てっきり、名前だけの教祖しかいない宗教みたいなものだと思ったんですけどね。そんな感じで、結局のところこれが一番印象に残りました。

## ③ 今後の学生生活に対する抱負

学習面については、今は明確な目標がなく、ただ言われるがままに毎日過ごしていますが頑張っって何をしたいか、何処に向かいたいかを決めて、その目標が実現できるような学習をできるようにしたいです。学校生活は、友達や先生と交流をすることが一番楽しめるのではないかと思うので、自分から話しかけるように心掛けたいです。ただ、学校生活が楽しくない事もきっとあると思います。その時は、自分で楽しめる環境を作れる人になりたいと思っています。

## ④ クラスの雰囲気について

最初は寮生が仲良く話していて、通学生は皆黙りこくっている感じでしたが、1ヶ月も経つとあまり関係なく交流していました。ただ、全員が話しているわけじゃありません。勿論、「自分から話しかけるのが苦手だなぁ」という人もいます。そういう人には是非優しくそんな人に話しかけてみてほしいと思っています。クラスメイトに話しかけられて「話し掛けないでください」なんて言う人は少ないと思うので（笑）。

# 新入生研修の感想を教えてください！（1年 システム制御情報工学科）

代表 藤田 晟名 さん

## ① 新入生研修を終えて

実際に旭川高専で生活していた先輩方の声は、これから旭川高専で生活していく私たちに自信を与えるとともに、自分の夢の実現に向けての意欲が掻き立てられたのではないかと思います。対学科のリーグ戦で行ったミニバレーは、仲間との距離を縮められるいい機会となりました。

## ② 印象に残ったこと

新入生研修で印象に残ったことは、学科対抗で行ったミニバレーです。普段は見られないみんなの様子はいつもよりも生き生きしていて、時には意外な一面も見ることができました。これからの学校生活で、みんなのいろんな一面をもっと見れたらいいなと思いました。

## ③ 今後の学生生活に対しての抱負

今まで私は周りに理系の分野のことについて詳しく話をすることができる先生も友達もあまりいませんでした。ですがこの旭川高専には、今まで自分が知りたかったことを聞くことができる友達も先生もいます。これから専門科目や実技教科も増えてくるとは思いますが、周りにいる人たちと協力して毎日意欲的に学び続けていきたいと思っています。

## ④ クラスの雰囲気について

このオンライン授業期間の過ごし方は対面授業と比べ様々だったと思います。いい意味でも悪い意味でも対面授業より自由度が高いため、自分に甘えてしまう人が多かったように感じました。一方で自分の普段からの授業に対する姿勢を見直すいい機会でもあったと思うので、これからの生活に活かして行って欲しいなと思います。

# 新入生研修の感想を教えてください！（1年 物質化学工学科）

代表 小島 那月 さん，柴田 亮弥 さん，菅原 諭司 さん，谷 舞衣 さん

## ① 新入生研修を終えて

新入生研修では先輩が学科の説明等を詳しくして下さい、大変そうだと思うことや楽しそうだと思うことが沢山ありました。またミニバレーボール大会では、私は運動音痴なのでチームの皆さんに迷惑をかけてしまいましたが、協力してプレイすることが楽しく、とても有意義な時間でした。（小島さん）



## ② 印象に残ったこと

新入生研修で印象に残ったことは、やはりバレーボールでしょう。ジャンプをしてはいけないバレーはとても斬新な発想で、とても平等なルールだと思いました。入学して間もない頃に、共にスポーツをするという貴重な経験があり、関りが持っていない人とも接点がみつけれられることもありました。（柴田さん）

## ③ 今後の学生生活に対する抱負

僕が今年頑張りたいことは2つあります。1つ目は体力をつけたいです。去年は自粛期間中ほとんど運動ができなかったため、かなり体力が落ちてしまいました。少し走るだけでも息切れするレベルなので、せめて自粛期間以前の体力には戻りたいです。2つ目は「色々なことに一生懸命努力すること」を今年の抱負として掲げたいと思います。2020年はコロナウイルスがまん延し、やりたことが思うようにできませんでした。そのため、やりたいことに努力したいと思います。（菅原さん）

## ④ クラスの雰囲気について

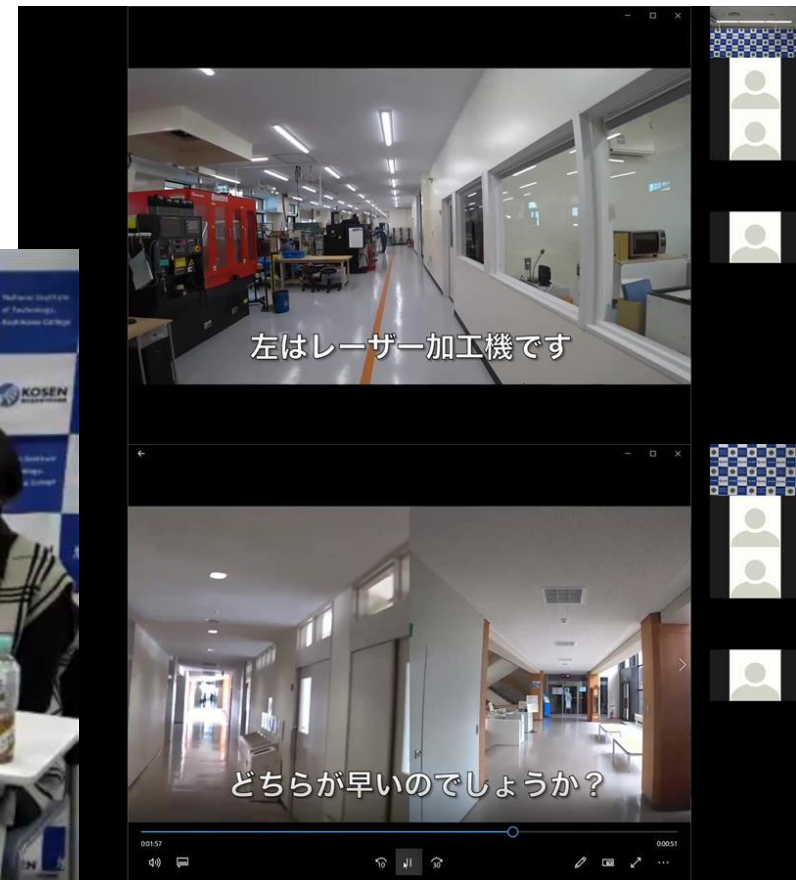
1Cは出会って2か月とは思えないほど仲が良いです。また、朝の挨拶は「ごきげんよう」、帰りの挨拶は「さようなら」「さようならご主人様」「ご機嫌麗しゅう」（今後も増える予定）のどれかをルーレットで決めるなど、とても個性的なクラスです。また、一か月に1回レクを行ったり、定期的に勉強会をしたり、クラスノートという交換ノートのものを回すなど、様々な取り組みを行っています。（谷さん）



# 進学説明会 初級編の報告 (2021年5月29日(土))

「高専ってどんなところ?」, 「ロボコンは知っているけど, 何を勉強しているの?」など, 高専についてほとんど知らない人を対象とした進学説明会が, Zoomによるオンライン形式で行われ, 75名の参加がありました。

まず, 学生が司会をしながら時間割を紹介した後, アクションカメラを用いて撮影した高専の様子(動画)をご覧頂きました。その後, 3名の学生が, 教員と対話をしたり, チャットによる質問に答えたりしました。「服装は?」など, 初めてならではの質問などもあり, 談笑しながら大いに盛り上がっていました。手伝って頂いた学生の皆さん, ありがとうございます。旭川高専の魅力がより多くの中学生に伝わったこと間違いなしです。



# 新任教職員の紹介

人文理数総合科 助教

佐藤 直飛

この4月に着任いたしました佐藤です。ここ春光台は大雪山が一望できる素敵な場所ですね。

専門は微分幾何と情報幾何で、主に統計多様体の研究を行っています。

授業を通じて数理的なものの見方や考え方のおもしろさを伝えていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。



## 技術創造部 技術管理グループ

### 技術職員 長谷部 和

この4月から、技術職員として技術創造部で勤務させていただくことになりました長谷部です。

実習、演習や研究などの様々な活動へ技術面でサポートができるよう、精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



### 職員人事異動のお知らせ(転入)

7月から旭川高専で働く職員を紹介します。

総務課研究協力係長

前田 未帆

学生課図書係長

本間 暁

学生課教務係主任

北村 孝行

# 旭川高専産業技術振興会の企業紹介

## No.17 日本製紙株式会社 旭川工場

### 会社概要

- ・設立：1938年6月
- ・従業員：293名（2021年4月現在）
- ・事業内容：紙・パルプ製造業（微塗工紙，食品容器原紙，情報用紙，壁紙原紙，加工用原紙，クラフト用紙，板紙等）

### アピールポイント

旭川工場は北海道のほぼ中央に位置していることから，道内各地からチップ・木材を容易に集荷できる地理的条件に加え，石狩川の良質な水を活かし，紙の原料となるパルプを生産する工場として設立され，後に紙の生産を開始しました。事業内容で紹介した製品のうち，皆さんに馴染みのあるモノでは，教科書・漫画・雑誌等の用紙や紙コップなどの食品容器原紙があります。

また，ISO14001の登録工場として，省エネルギーや廃棄物の削減，2008年に運転開始したバイオマスボイラーによる脱石油化とCO<sub>2</sub>排出量の削減を実現することで，環境に配慮した活動に取り組んでいます。

更には，工場のエネルギーは回収ボイラーとバイオマスボイラーで電力と蒸気を賄っており，日々自家発電比率は90%を超えています。私たちは“木とともに未来を拓く”をスローガンに，持続可能な社会のためにできることを考えています。皆さんも私たちと一緒に考えて行きませんか。

### 連絡先

住所：北海道旭川市パルプ町505番地の1  
TEL：0166-25-9730  
HP：<https://www.nipponpapergroup.com/about/branch/factory/mpi/asahikawa/>



旭川工場  
マスコットキャラクター  
“パルプくん”



旭川工場の外観



主要設備（1号マシン）

# 旭川高専産業技術振興会の企業紹介

## No.18 富士コンクリート株式会社

### 会社概要

- ・創業：1958年5月1日 資本金：3,500万円
- ・従業員：40名（男性31名，女性9名）
- ・事業内容：コンクリート二次製品の製造販売

### アピールポイント

この度、旭川高専産業技術振興会に入会させて頂きました。振興会会員と旭川高専の皆様，これから宜しくお願い致します。

当社は昭和33年，コンクリート二次製品の製造販売を目的に「富士コンクリート工業所」として創業し，翌昭和34年4月13日，「富士コンクリート株式会社」の名称となりました。

取り扱っている製品は，道路，河川，護岸，農業分野の公共工事や民間工事等で幅広く使用されています。当社はこれらに使用される各種製品を製造販売することにより社会基盤整備の一翼を担うべく，技術の向上と高品質製品の確保に努め，社会に貢献できるよう活動しております。

コンクリートの分野は日々革新が進んでいます。旭川高専の皆様にも是非コンクリートに興味を持って頂き，私たちと一緒に地域発展のため，活動してみませんか。

### 連絡先

住所：北海道旭川市西神楽1線  
14号253番地の8

TEL：0166-75-3588 HP：<http://fujiconcrete.co.jp/>



代表取締役 岡田 佑一



農業用水路製品



エクステリア関連製品

# FANCT

vol. 136-Jul.



独立行政法人国立高等専門学校機構  
旭川工業高等専門学校

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8000 (代表)

FAX 0166-55-8082

URL <http://www.asahikawa-nct.ac.jp>

学校だよりに掲載されている記事・写真などは、学校だよりへの掲載目的以外の利用及び外部への提供は一切行いません。また、個人情報に関するお問い合わせは、上記担当までご連絡ください。掲載の記事・写真・イラストなどのコピー・転写等の二次利用は固くお断りいたします。